



北海道バスケットボール協会
指導者育成専門委員会
2015/7/13(月)

タクティクス (HBA指導者育成専門委員会ブログ)

NO. 169

平成27年度高体連全道大会小樽大会

男子は札幌日大が優勝、2位札幌工業共に全国大会へ出場！

旭川凌雲、初出場で3位の健闘

同3位恵庭南、残り0.3秒の悲運と0.9秒の驚異・賞賛のドラマ！！

指導者育成専門委員
川村 健二

6月19日からの3日間、小樽で開催されたこの大会は、第2シードの札幌東海第四、第3シードの旭川工業、第4シードの駒沢苫小牧がことごとく敗れ姿を消した大波乱の中で、新人戦準優勝ながら札幌地区3位でこの大会に臨んだ札幌日大が3回目の優勝を飾り幕を閉じた。

札幌日大は走攻守共に着実に力を付け、選手層の厚さ・高さを見せつけて2月新人戦の雪辱を果たした。④キャプテン森山とポイントゲッターに成長した⑩齋藤がベスト5に選ばれている。

優れた個人技とシュート力のチーム、準優勝の札幌工業は、日大に3点差で敗れたものの、旭川凌雲に快勝、最終戦の恵庭南戦は延長戦ながら最後に⑤濱尾（ベスト5選出）が負傷を感じさせず、正に渾身の力を振り絞って連続シュートを決め、辛くも逃げ切り全国切符を手にした。

全道大会初出場ながらベスト4に勝ち残った旭川凌雲は、初日に優勝候補の東海大学第四校を破り、2日目は帯広大谷との接戦を制し、更に決勝リーグ初戦の恵庭南に快勝、その勢いで最終日の活躍が期待されたが、一夜明け様子が一変、札幌工業戦も札幌日大戦も昨日までの良さが全く影を潜め、もろくも敗れ去ってしまった。しかし、初出場で優勝候補を破り決勝リーグまで進出したことは、大いに評価されるものであろう。チームを指導してきた日下部監督は旭川凌雲に勤務して5年目、以前は旭川西校を指導し、インターハイ、国体にも出場経験の有る道内において有数の指導者である。凌雲は次年度他校との統合が決まっており、校名等も全て変わる予定のため、凌雲の名前での出場は最初で最後になり、ある意味で記念すべき大会となった。キャプテンの④齋藤がベスト5に選出されている。

今大会、特筆すべきチームは、3位で終えたものの驚異的粘りを発揮し、最後の最後まで戦い抜いた恵庭南高校であろう。2回戦で第3シードの旭川工業を、3回戦は好チームの根室をも一蹴し決勝リーグに進出、初戦旭川凌雲には攻守が噛み合わず完敗。しかし、最終日、大方の予想とは裏腹に札幌日大と大接戦を演じ、驚異的粘りと頑張りを見せて残り0.3秒で遂に逆転に成功、誰しもが恵庭南の勝利を疑わなかったが、日大スローイン後の

シュートがファウルとなり、フリースローで再逆転を喫し、札幌日大にとっては幸運の勝利、恵庭南にとっては正に悲運の敗戦となってしまった。

全国大会出場権がかかった審判の重要性を改めて感じさせられた高体連68回の大会史に残る試合であったように思う。

恵庭南の選手達はこの敗戦で相当気落ちしていたはずであるが、賞賛すべきは最終戦の札幌工業戦において、沈み込んだ士気を奮い起こし、終始押され気味ながらも第4ピリオド、残り0.9秒でついに同点、延長戦まで持ち込んだその戦いぶりである。最後は突き放され3点差で敗れ去ったものの、いいかげんにならず、諦めず、果敢に粘り強く戦った試合ぶりに心から拍手と賞賛を送りたい。延長戦でも気を吐いたキャプテン④清野がベスト5に選出されている。

『賞賛や感動、それは勝利者や優れた能力のある者だけから受けるものではない』こと、戦いに敗れはしたものの、彼等こそがこの大会の勝利者ではなかったか・・・とさえ思っている。

森川コーチは、現札幌工業高校横嶋監督の後任として大麻から8年前に恵庭南に赴任した。大麻時代は女子を指導、その時から情熱的指導で知られており、以後、横嶋カラーを引継ぎ3年目の平成22年には、この大会で準優勝を果たし沖縄総体に出場している。ここ数年の紆余曲折の時を経て、やっとチームの再建に着手出来て何とか予選5位で本大会を迎えたとのこと。この大会の経験が新たな森川カラーを生み出し、今後の指導にどう反映されていくのか、大いに注目し楽しみにしたい。

この大会の中でシード及びベスト4以外で印象に残ったのは、十勝勢3位の帯広大谷である。優れた個人技とシュート力を備え、2年生の活躍もあって、次の大会から脅威の存在になっていく感がある。注目されていた十勝勢一位の白樺学園は札幌工業戦でターンオーバーが重なり惜敗。釧根の根室も好チームであった。それらに今回のベスト4のチーム、更にはシードで敗れ去った東海大第四、旭川工業や駒沢苫小牧を加えてウィンターカップ、新人戦がどう展開されていくか、幾分戦国時代の様相を呈し興味は尽きないが、まずは京都総体での2チームの活躍に期待したい。

最後に、本大会の運営に携わり、色々お世話になりました当番校小樽工業高等学校の先生方及び生徒の皆様並びに小樽地区協会の皆様に心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。